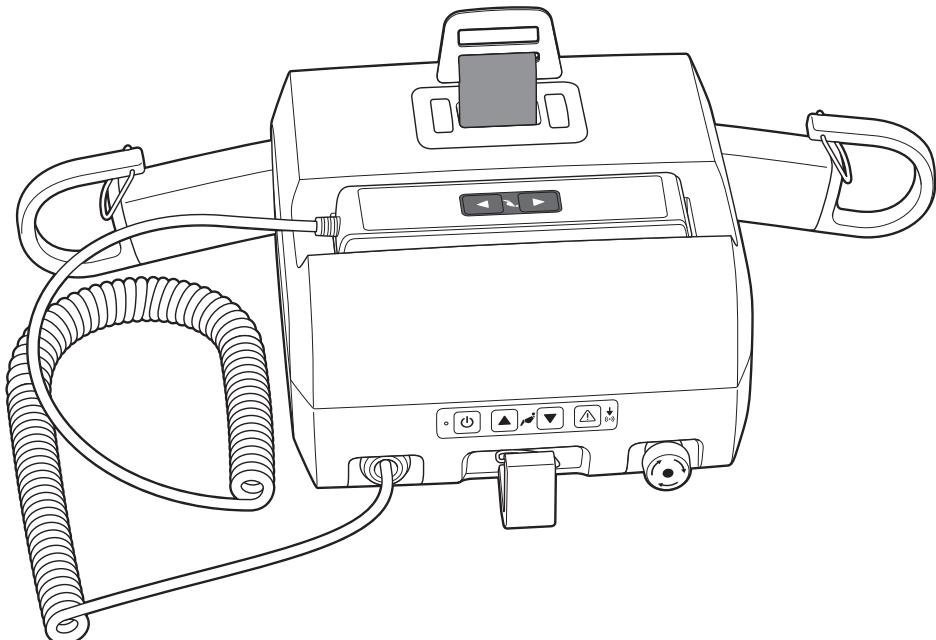


かるがる[®] プチ V

取扱説明書



この度は「かるがる[®] プチ V」をご購入頂き、誠にありがとうございます。

※本製品を正しくお使い頂くために、ご使用前に必ず、この「取扱説明書」をお読みください。

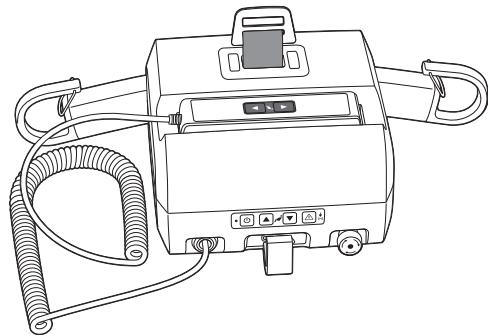
※内容をご理解頂き、記載事項はお守りください。

※この「取扱説明書」は、いつでもご覧頂けるよう、大切に保管してください。

株式会社 竹虎

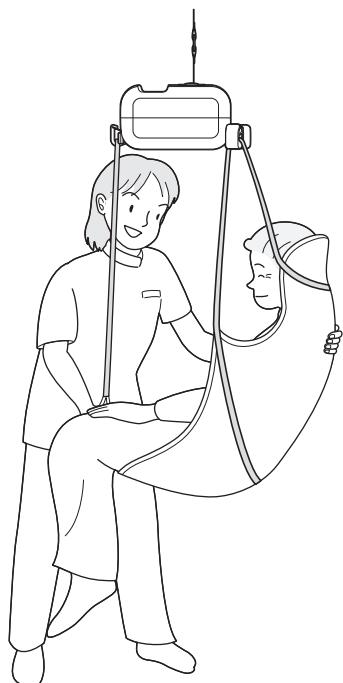
かるがる プチ V

「かるがる[®] プチ V」は、
介護者、ご利用者、それぞれの負担を
軽減させ、寝室・居室をはじめとして
浴室・トイレなど、あらゆるお部屋で
ご使用頂けます。



【製品を安全・快適にご使用頂くために】

- 介護者はご利用者の身体状況を常に把握し、
無理のない体調・姿勢でご使用ください。
- P.22の「日常点検事項」「定期点検事項」を
必ず守って頂き、リフト本体およびリフト
関連製品(スリングシート(吊り具)・各種
ベルト類・レール等)の安全を確認して
ください。



目次

■ 安全上のご注意	3
■ 本体について	7
○ 各部名称	7
■ ご使用になる前に	11
○ リフト本体を充電する	11
○ 吊り下げベルトの長さ設定	12
○ リフト本体をベルトにかける	13
○ リフト本体をベルトから外す	14
■ 操作方法	15
○ リフト本体を使用する	15
○ リフト本体をレールに沿って移動させる	16
○ スリングシートをハンガーに掛ける	17
■ 安全のための機能	18
○ 緊急停止ボタン	18
○ 緊急降下ボタン	18
○ ベルトテンションガード	19
○ ベルトストッパー	19
○ セーフティキャッチ	19
■ 故障かな？と思ったら	20
■ 保守・点検	22
○ 保守	22
○ 点検	22
・ 日常点検事項	
・ 定期点検事項	
○ メンテナンス	23
■ 保証・アフターサービス	24
○ 保証	24
・ 保証	
・ 免責事項	
○ アフターサービス	24
・ 修理	
■ 仕様	25

安全上のご注意

ここに記した注意事項は、製品を安全に正しくお使い頂き、お使いになる方や他の方への危害・財産への損害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

■誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の警告表示で区分し、説明しています。

	警 告	「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。
	注 意	「障害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

■お守り頂く内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	必ず実行して頂く「強制」内容を説明しています。
	してはいけない「禁止」内容を説明しています。
	気をつけて頂きたい「注意喚起」内容を説明しています。



警 告



強制

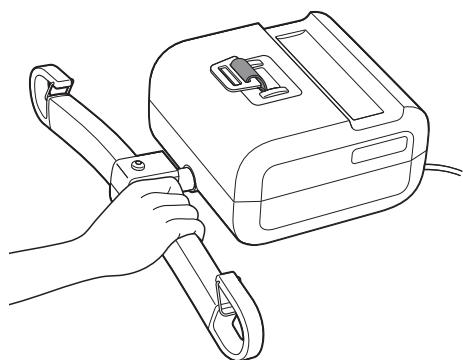
●使用時は必ず介護者が付き添ってください。
操作は必ず介護者が行ってください。また介護者はご利用者を乗せたままそばを離れないようにしてください。

●取扱説明書の内容を理解・実行できない方には、操作させないでください。

取扱説明書には安全に使用する上での重要な事項が書かれています。この内容を理解し、実行できない方が操作すると、事故の原因となります。

●リフト本体を落とさないでください。

リフト本体の取り外しや持ち運びの際はバランスバーが可動するので、バランスバー中央の軸部分をしっかりと握ってください。



●リフト本体はぐらついた台の上や傾いた所等、不安定な場所に置かないでください。
また強い衝撃や振動を与えないでください。
落下・転倒による事故やけがの原因となる恐れがあります。

●ポールやレールがぐらついたら使用を中止してください。

ぐらつき・きしみ等の異常が発生した場合は、すみやかに使用を中止し、お買い上げの販売店または弊社までご連絡ください。

●バッテリー充電器のコードを傷つけたり、重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりしないでください。

コードを傷め、火災や感電の原因になります。

●電源はAC100 V (50/60 Hz) のコンセントを使用してください。

指定以外の電源を使用すると、火災・感電の原因となる恐れがあります。

●リフティングベルトが確実に吊り下げベルトに掛かっているか確認してください。

正しくベルトが掛かっていないとフックから外れ、けがをする恐れがあり大変危険です。

●リフト本体やバッテリー、ベルト類、スリングシート（吊り具）等の劣化・交換時期は使用状況により異なります。

必ず指定の点検を行い、異常がある場合はすみやかにご使用を中止し、お買い上げの販売店または弊社までご連絡ください。

●バッテリーは1・2年を交換の目安として、新しいバッテリーに交換してください。

蓄電池の液漏れ・発熱・破裂や人身損傷の原因になることがあります。



禁止

●体重150kg以上の方を絶対に吊らないでください。

故障や思わぬ事故の原因となる恐れがあります。

●異常が発生した場合は、すみやかに使用を中止してください。

煙・音・におい等、異常のある状態のまま使用しないでください。

●改造・分解・お客様による修理はしないでください。

発火・感電・事故・けがの原因になる恐れがあります。また故障の際はお買い上げの販売店または弊社までご連絡ください。

●リフト本体に直接水をかけたり、ぬれた手で操作しないでください。

故障・感電の原因となります。

●浴室内で充電しないでください。

感電する恐れがあります。

●ハンドコントロールを水の中に浸けないでください。

故障や誤動作の原因となる恐れがあります。すみやかに使用を中止し、お買い上げの販売店、または弊社までご連絡ください。

●電源プラグはぬれた手で抜き差ししないでください。

感電・けがの原因になります。

●リフト本体のすき間に異物を入れないでください。

リフティングベルトの収納部からリフト本体に異物が入ると、故障や思わぬ事故の原因となります。万一異物が入った場合はすみやかに使用を中止し、お買い上げの販売店または弊社までご連絡ください。

●ポールやレールの配置を変えないでください。

事故の原因となります。配置変更の際は、お買い上げの販売店または弊社までご連絡ください。

●緊急降下ボタンは緊急時または本体が故障した場合以外は使用しないでください。

故障の原因になります。

! 注意

 強制	<ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグをコンセントから抜く際は、コードを持たず電源プラグを持って引き抜いてください。 ●浴室で使用した場合は、使用後に必ず浴室からリフト本体を出してください。 感電・発火の原因となります。 	<ul style="list-style-type: none"> ●リフト本体の保守・点検は、弊社公認の技術者より最低年1回行ってください。 ●リフティングベルトは3年を交換の目安として、ベルトのほつれや両側端部が毛羽立ってきたら新しいベルトと交換してください。 (交換時期は使用状況により異なります) ベルトが劣化していると思わぬ事故の原因になります。
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●人以外のものを吊らないでください。 故障・事故の原因となります。 ●吊り上げた際、リフト本体が傾いていないか確認してください。 事故やリフティングベルトの消耗を早める原因となります。 ●指定のバッテリー充電器・ハンドコントローラ以外は使用しないでください。 ●充電が必要になったらすみやかに使用を中止し、充電を行ってください。 ●介護中、リフト本体はなるべく介護者やご利用者から離したところにおいてください。 けがの原因となる恐れがあります。 ●使用しないときは、安全なところへ置いてください。 リフト本体を吊り下げたままで、思わぬけがの原因となる恐れがあります。また直射日光の当たる場所や暖房器具の近く等、高温になる場所に置かないでください。 	<ul style="list-style-type: none"> ●上昇・下降させる際は、ご利用者の頭部にリフト本体をぶつけないようにしてください。 リフト本体を手で引き、頭部から遠ざけてください。 ●シンナー・ベンジン等は絶対に使用しないでください。また液剤を直接リフト本体にかけないでください。故障や変色・変形の原因となります。 ●連続使用はしないでください。 モーターの過熱により、故障の原因となる恐れがあります。
 注意喚起	<ul style="list-style-type: none"> ●リフト本体にリフティングベルトを巻き取る際は、軽くベルトを引っ張りながら上昇ボタンを押してください。 ベルトが正常に巻き取られず、故障の原因となります。 ●バッテリーの早期劣化を防ぐため、毎日充電してください。 充電の際は電源スイッチは切ってください。 	<ul style="list-style-type: none"> ●無線装置、携帯電話などは、機能に影響するおそれがありますので、リフト本体のそばで使用しないでください。 ●高周波治療器などのケーブルをリフト本体のそばに置かないでください。 ●スリングのフック位置がわからない場合は、専門家にご相談ください。 ●緊急停止ボタンが押されたままで、充電できません。

保管上のお願い

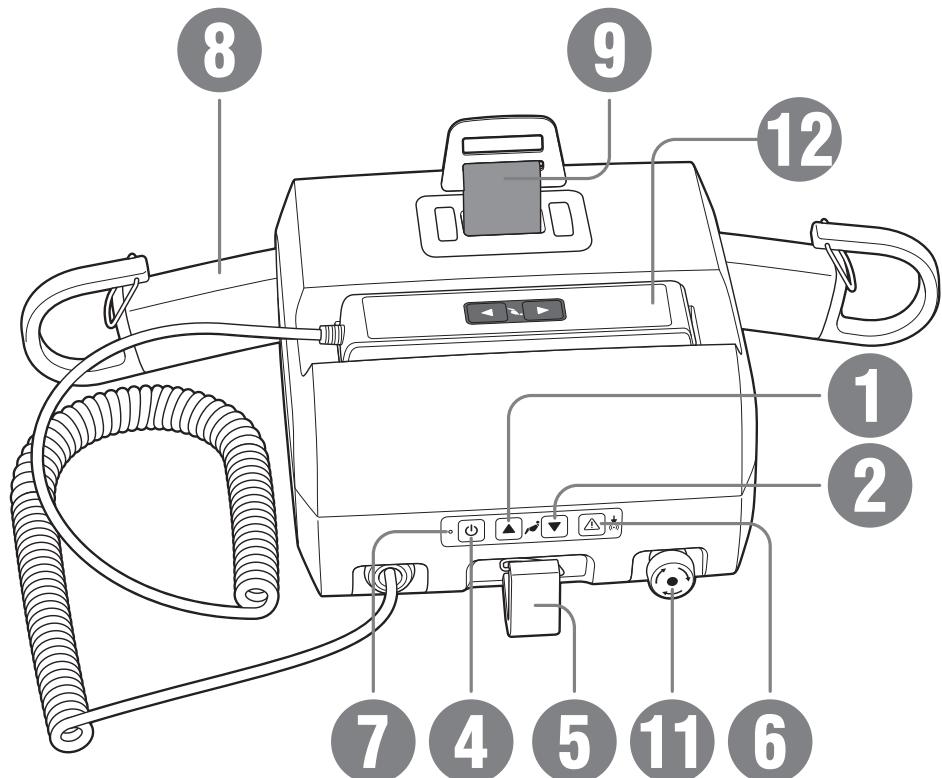
長期間お使いにならない場合は以下の事項をお守りください。

 強制	<ul style="list-style-type: none">●電源は必ず切ってください。 電源を入れたままでするとバッテリーの早期劣化の原因となります。	
 禁止	<ul style="list-style-type: none">●ホコリの多いところや直射日光の当たる場所には保管しないでください。 故障・誤作動の原因となります。	<ul style="list-style-type: none">●リフト本体に物を載せて収納しないでください。 故障・誤作動の原因となります。
 注意喚起	<ul style="list-style-type: none">●長時間使用しない場合でも、定期的に充電してください。 月一回の充電をお勧めします。●リフト本体を数日間使用しない場合は、緊急停止ボタンを作動させてください。●リフト本体を保管、移動する場合は、水平に保ってください。	<ul style="list-style-type: none">●本製品の補修部品の供給年数は5年です。 製造打ち切り後5年以上経過した場合、補修部品の供給ができないことがありますのでご了承ください。

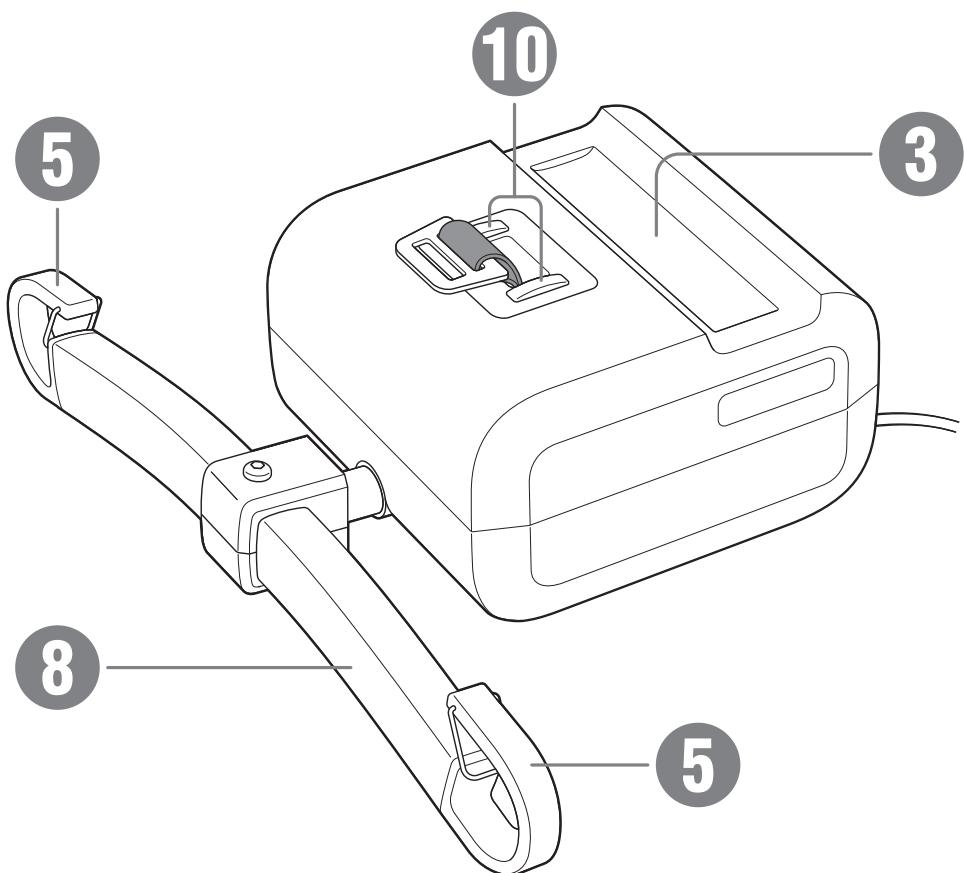
■ 本体について

各部名称

正面図



側面図



■ かるがる® プチ V リフト本体

- ① 上昇ボタン** : 押し続けると上昇し、手を離すと止まります。
- ② 下降ボタン** : 押し続けると下降し、手を離すと止まります。
- ③ ハンドコントロール用トレー**
: ハンドコントロールを載せます。磁石の力でハンドコントロールがトレーにつきます。落下も防ぎます。
- ④ 電源スイッチ** : 電源のON, OFFスイッチです。使用しないときは必ずOFFにしてください。電源をONにすると表示ランプが緑色に点滅します。
- ⑤ スリングフック** : スリングシート(吊り具)のストラップをかけるためのフックで、バランスバーの両端とリフト本体正面の3か所に設置。
- ⑥ 緊急降下ボタン** : 緊急時にのみ使用します。
緊急降下ボタンと下降ボタンを同時に押すとブザー音とともに本体が降下します。
P.18『安全のための機能』をご参照ください。
- ⑦ 表示ランプ** : 電源が入っている場合に、次のように表示します。
 - ・緑色の点滅…使用可能な待機状態です。バッテリーレベルは「フル」を示しています。
 - ・緑色の点灯…リフト本体が作動中の状態です。
使用後、待機状態【緑色の点滅】になります。
 - ・黄色の点滅…使用可能な待機状態です。バッテリーレベルは「ノーマル」を示しています。
 - ・赤色の点滅…リフト本体の充電が必要な状態です。
 - ・赤色の点灯…リフト本体になんらかのトラブルが起きた状態です。
P.20『故障かな?と思ったら』をご参照ください。
 - ・緑色／黄色の点滅…リフト本体のメンテナンス時期です。定期点検を行ってください。
 - ・黄色／赤色の点滅…リフト本体のメンテナンス時期です。定期点検を行ってください。
また充電が必要な状態です。
- ⑧ バランスバー** : ご利用者の重心のバランスをとり、リフティングベルトがスムーズにリフト本体に収納されます。
リフト本体を外すとき等は中央の軸部分を持ちます。
- ⑨ リフティングベルト** : リフト本体を吊るすためのベルトです。
- ⑩ ベルトストッパー** : リフティングベルトがストッパーにあたると、自動的にリフティングベルトの巻き取りが停止します。
ベルト巻き取り口の両端(2か所)に設置。
- ⑪ 緊急停止ボタン** : 赤いボタンを押すと、緊急停止します。
- ⑫ ハンドコントロール** : P.9『ハンドコントロール』をご参照ください。

■ ハンドコントロール

① 上昇ボタン：押し続けると上昇し、手を離すと止まります。

② 下降ボタン：押し続けると下降し、手を離すと止まります。

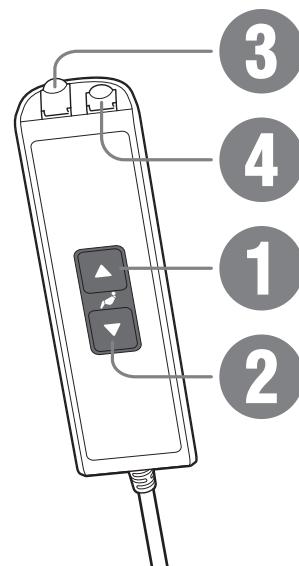
●ご利用者を乗せた場合、1本のベルトにかかる荷重によっては、低速モードの操作となります。

●連続して上昇ボタンを押すと、下降の際に高速モードになる場合があります。

●電源をONにした直後にハンガーを下降させても、リフト本体が荷重がかかっていないことを認識するまでの間（約3秒）、高速モードは作動しません。

③ 充電コネクター：バッテリー充電器の充電プラグが差し込まれます。

④ メンテナンス用 USB 入力端子



△ 注意

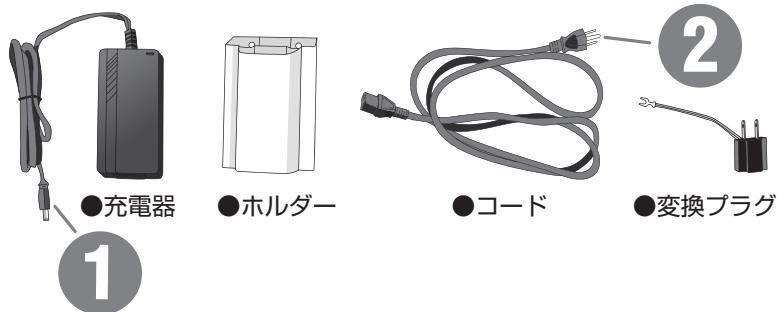


●ハンドコントロールについているカバーは閉じてご使用ください。

■ バッテリー充電器

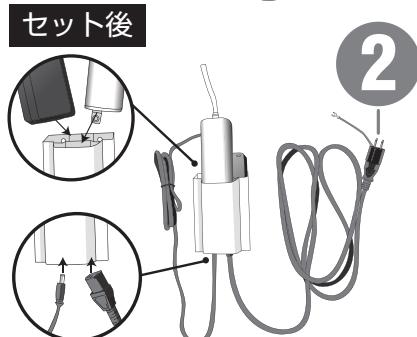
① 充電プラグ：ハンドコントロールの充電コネクターに差し込みます。

② 電源プラグ：変換プラグを取り付けコンセントに差し込みます。



●バッテリー充電器についての詳細はP.11『リフト本体を充電する』をご参照ください。

〈ホルダーをご使用の場合〉



■ レールローラー・吊り下げベルト

① レールローラー

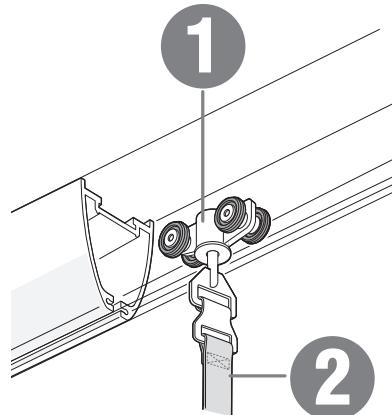
：レールにそった移動のための部材で、レールの中に組込まれています。

ここに吊り下げベルトを掛けます。

吊り下げベルトなしでリフティングベルトの掛けられるフックタイプもあります。

② 吊り下げベルト

：レールローラーとリフティングベルトをつなぐものです。



ご使用になる前に

⚠ 警 告



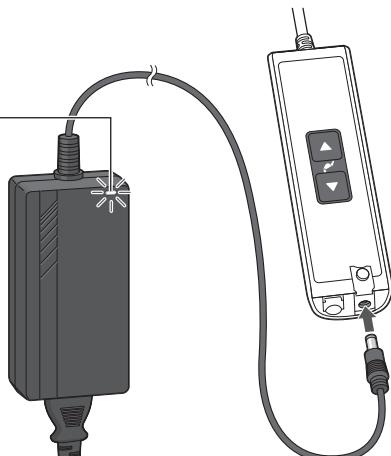
- 取扱説明書の内容を理解・実行できない方には、操作させないでください。
取扱説明書には安全に使用する上での重要な事項が書かれています。この内容を理解し、実行できない方が操作すると、事故の原因となります。

リフト本体を充電する

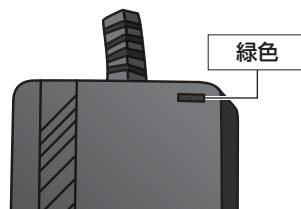
充電はハンドコントロールを通じて行われます

- ① バッテリー充電器の電源プラグを差し込みます。バッテリー充電器の表示ランプが、オレンジ色に点灯します。

オレンジ点灯



- ② リフト本体に接続されたハンドコントロールの充電コネクターに、バッテリー充電器の充電プラグを差し込みます。
リフト本体の電源スイッチがONのままでも充電できます。



- ③ バッテリーの充電が終了すると充電表示ランプがオレンジ色より緑色に変わります。

- 充電完了後、バッテリー充電器に接続したままで問題ありません。
※過充電防止回路付き
- 緊急停止ボタンが押されたままで、充電ができません。
- リフトを使用するときは、充電器を取り外してください。

⚠ 警 告



- バッテリー充電器のコードを傷つけたり、重いものを載せたり引っ張ったり、無理に曲げたりしないでください。

コードを傷め、火災や感電の原因になります。

- 電源は AC100 V (50/60 Hz) のコンセントを使用してください。
指定以外の電源を使用すると、火災・感電の原因となる恐れがあります。



- 浴室内で充電しないでください。

感電する恐れがあります。

- 電源プラグはぬれた手で抜き差ししないでください。
感電・けがの原因になります。

⚠ 注意



- 電源プラグをコンセントから抜く際は、コードを持たず電源プラグを持って引き抜いてください。



- 指定のバッテリー充電器以外は使用しないでください。

- 充電が必要になったらすみやかに使用を中止し、充電を行ってください。



- バッテリーの早期劣化を防ぐため、毎日充電してください。

- 長期間使用しない場合も定期的に充電してください。

月一回の充電をお勧めします。

- 緊急停止ボタンが押されたままで、充電ができません。

吊り下げベルトの長さ設定

介護者・ご利用者、それに合ったベルトの長さに設定してください

介護者に合わせたベルトの設定方法

- ① 床から「身長+20cm」の高さ(A)を測ります。
- ② 床からレールローラーのフック先端までの高さ(B)を測ります。
- ③ (B)から(A)を引いた長さが、最適な吊り下げベルトの長さになります。

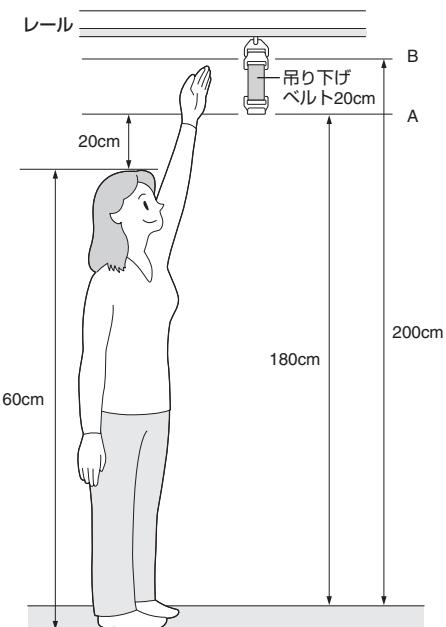
【例】

$$(A) = 160 + 20 = 180\text{cm}$$

$$(B) = 200\text{cm}$$

$$\text{ならば} 200 - 180 = 20$$

吊り下げベルトの長さは20cmとなります。



ご利用者に合わせたベルトの設定方法

- ① リフト本体上部からご利用者のお尻までの標準的な長さ(C)は120cmです。
- ② 床から「身長+20cm」の高さ(A)を測ります。
- ③ (A)から(C)を引いた長さが、ご利用者の床からの高さになります。

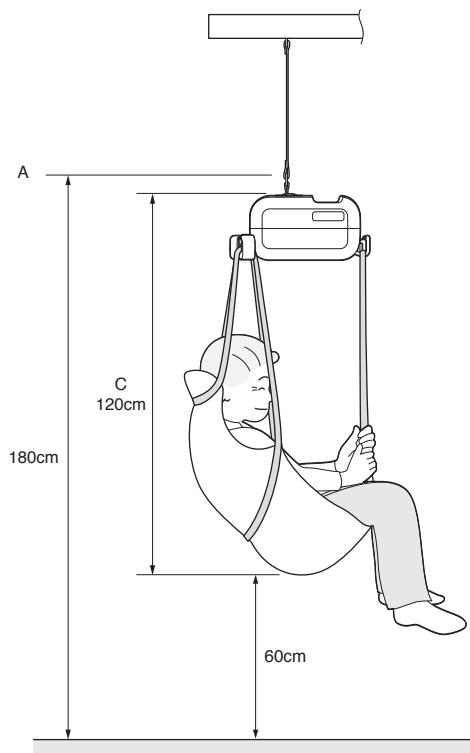
【例】

$$(A) = 180\text{cm}$$

$$(C) = 120\text{cm}$$

$$\text{ならば} 180 - 120 = 60$$

床からの高さは60cmとなります。ただしこの場合、ベッドや浴槽の高さが60cm以上ですとご利用者のお尻があたってしまします。吊り下げベルトは、ご利用者の生活動線上の高さに合わせてお選びください。



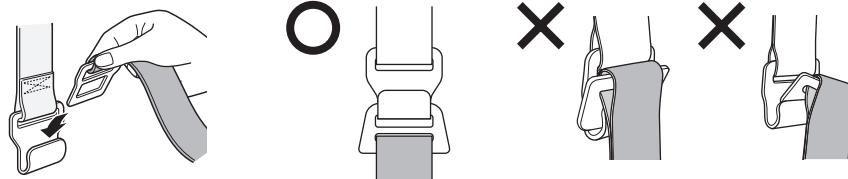
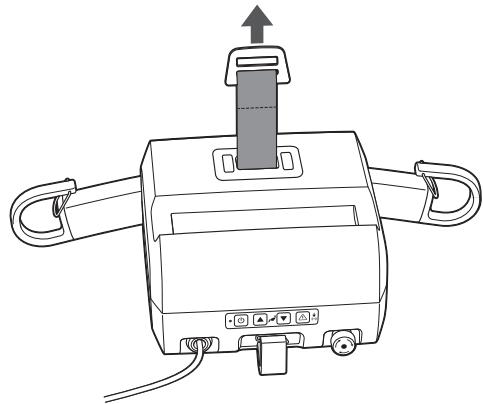
リフト本体をベルトにかける

取り外してある本体を吊り下げベルトにかける

① 本体を台やベッドの上に置きます。

② 電源スイッチを「ON」にします。
電源表示ランプが緑色に点灯します。

③ リフティングベルトを引っ張りながら下降ボタンを押してベルトを引き出し、吊り下げベルトに掛けます。
このとき、リフティングベルトのフックを立てるよう持ち、吊り下げベルトのフックに上から差し込むようしつかりと掛けます（下図参照）。



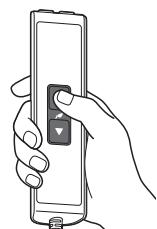
△ 警 告



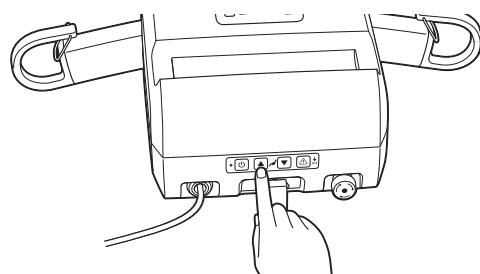
●リフティングベルトが確実に吊り下げベルトに掛かっているか確認してください。
正しくベルトがかかっていないとフックから外れ、けがをする恐れがあり大変危険です。

④ 上昇ボタンを押すと、上昇します。

●操作はハンドコントロールおよびリフト本体からできます。
●ご利用者を乗せた場合、1本のベルトにかかる荷重によっては低速モードのみの操作となります。



または



△ 警 告



●リフト本体を落とさないでください。
リフト本体の取り外しや持ち運びの際はバランスバーが可動するので、バランスバー中央の軸部分をしつかり握ってください。

△ 注 意

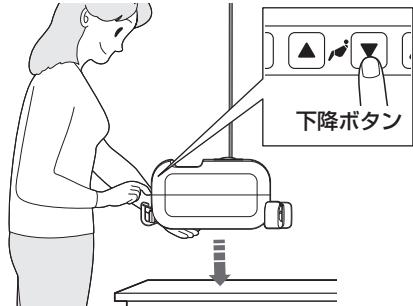


●介護中、リフト本体はなるべく介護者やご利用者から離したところにおいてください。
けがの原因となる恐れがあります。
●上昇・下降させる際は、ご利用者の頭部にリフト本体をぶつけないようにしてください。
リフト本体を手で引き、頭部から遠ざけてください。

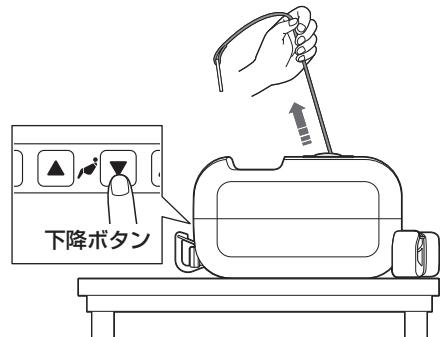
リフト本体をベルトから外す

リフト本体を台やベッドの上に降ろして外す

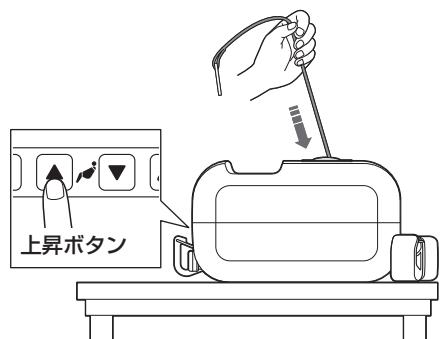
- ① リフト本体を台やベッドの上まで移動させ、下降ボタンを押します。



- ② 台やベッドの上にリフト本体が乗ったら、リフティングベルトを引っ張りながら下降ボタンを押しベルトをたるませ、吊り下げベルトからリフト本体を外します。



- ③ 上昇ボタンを押し、リフティングベルトを引っ張りながら巻き取ります。



警 告

- リフト本体はぐらついた台の上や傾いた所等、不安定な場所に置かないでください。
また強い衝撃や振動を与えないでください。
落下・転倒による事故やけがの原因となる恐れがあります。
- 浴室で使用した場合は、使用後に必ず浴室からリフト本体を出してください。
感電・発火の原因となります。



強制

注 意

- 使用しないときは、安全なところへ置いてください。
リフト本体を吊り下げたままで、思わぬけがの原因となる恐れがあります。また直射日光の当たる場所や暖房器具の近く等、高温になる場所に置かないでください。
- リフト本体にリフティングベルトを巻き取る際は、軽くベルトを引っ張りながら上昇ボタンを押してください。
ベルトが正常に巻き取られず、故障の原因となります。



禁止



注意喚起

操作方法

⚠ 警 告



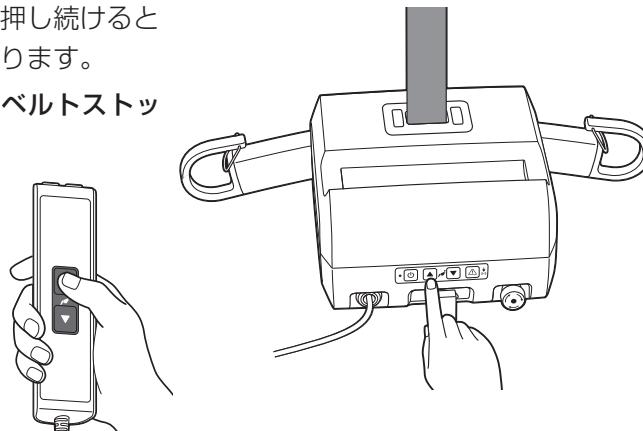
- 取扱説明書の内容を理解・実行できない方には、操作させないでください。
取扱説明書には安全に使用する上での重要な事項が書かれています。この内容を理解し、実行できない方が操作すると、事故の原因となります。
- 使用時は必ず介護者が付き添ってください。
操作は必ず介護者が行ってください。また介護者はご利用者を乗せたままそばを離れないようにしてください。

リフト本体を使用する

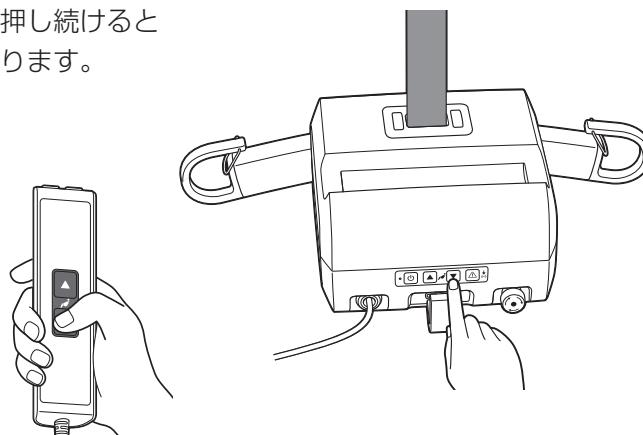
リフト本体を上下させる

- ① ハンドコントロールの上昇ボタンを押し続けると
本体が上昇します。手を離すと止まります。

- リフト本体を一番上に巻き取り、ベルトストッパーにあたった後、止まります。



- ② ハンドコントロールの下降ボタンを押し続けると
本体が下降します。手を離すと止まります。



⚠ 警 告



- 体重150kg以上の方を絶対に吊らないでください。
故障や思わぬ事故の原因となる恐れがあります。
- リフト本体に直接水をかけたり、ぬれた手で操作しないでください。
故障・感電の原因となります。
- ハンドコントロールを水の中に浸けないでください。
故障や誤動作の原因となる恐れがあります。使用を中止し、お買い上げの販売店、または弊社までご連絡ください。
- リフト本体のすき間に異物を入れないでください。

⚠ 注意

- 人以外のものを吊らないでください。
故障・事故の原因となります。
- 吊り上げた際、リフト本体が傾いていないか確認してください。
事故やリフティングベルトの消耗を早める原因となります。
- 連続使用はしないでください。
モーターの過熱により、故障の原因となる恐れがあります。



禁止

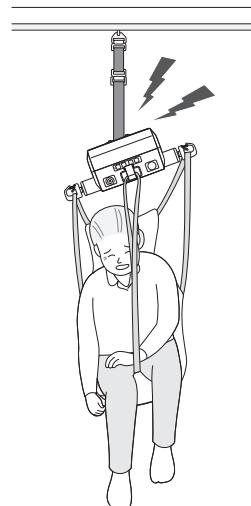


と思ったら.....



上昇中に止まってしまった

- ⇒ 乗っている方の位置が片寄って、リフト本体が斜めになってしまい、安全ストッパーが作動してしまっている可能性があります。
- まずリフト本体を手で水平にし、ご利用者を降ろします。
- リフト本体が水平になるようにスリングシート（吊り具）を装着し直し、もう一度吊り上げてください。

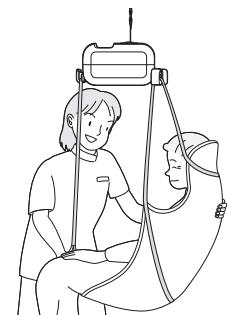


リフト本体をレールに沿って移動させる



リフト本体のみの場合

手で軽くリフト本体を押してください。



ご利用者が乗っている場合

ご利用者の不安感を軽減させるため、身体に手を添えて押してください。

⚠ 注意

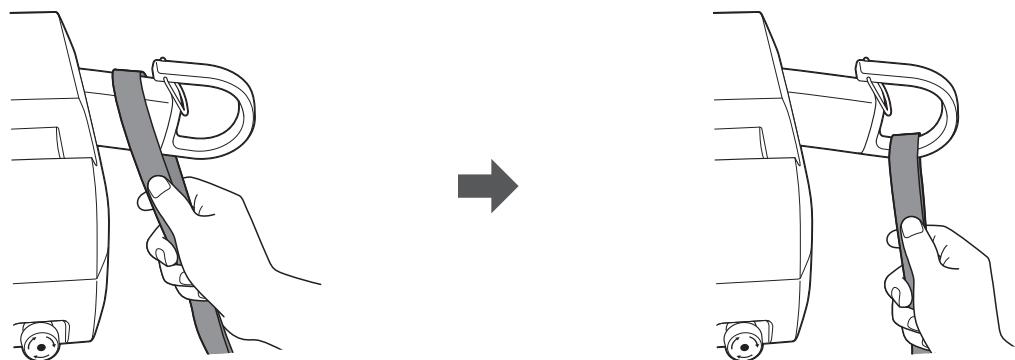
- 人以外のものを吊らないでください。
故障・事故の原因となります。
- 巻き上げる際、リフティングベルトがねじれたり折れたりしていないか確認してください。
事故やリフティングベルトの消耗を早める原因となります。
- 連続使用はしないでください。
モーターの過熱により、故障の原因となる恐れがあります。



禁止

スリングシートをハンガーに掛ける

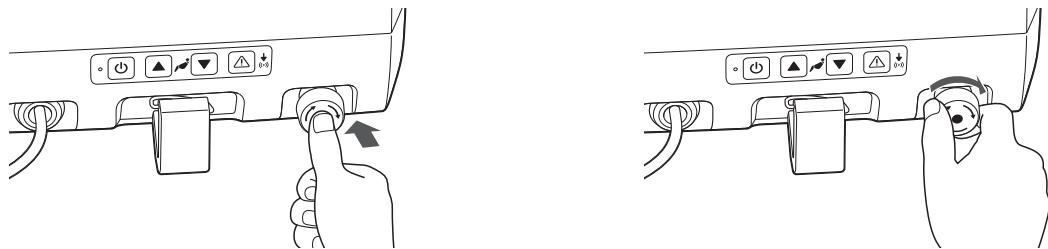
体が完全に吊り上がる前に、スリングシートのストラップがハンガーのフックに確実に掛かっていることを確認してから吊り上げてください。



安全のための機能

■ 緊急停止ボタン

リモートコントロールの故障や不測の事態で、上昇もしくは下降ボタンから手を離してもリフト本体が停止しない場合は、緊急停止ボタンを押してください。
再び動かす際はボタンを矢印の向きにまわし、引き出してください。

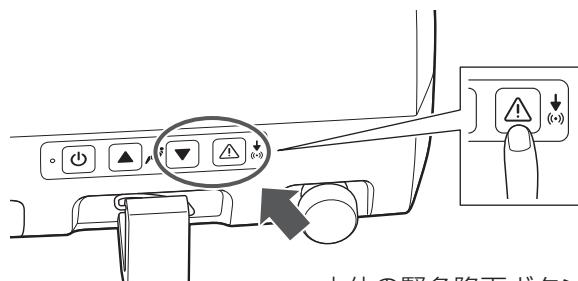


■ 緊急降下ボタン

ハンドコントロールの故障や不測の事態で、リフト本体が操作不能になった場合は、本体にある緊急降下ボタンを使用します。

ボタンを押すと約3秒後ブザー音とともにハンガーが降下します。

●緊急停止ボタンが作動したままの状態では、この機能はご使用いただけません。



本体の緊急降下ボタンを押しながら本体の下降ボタンを押す

！注意



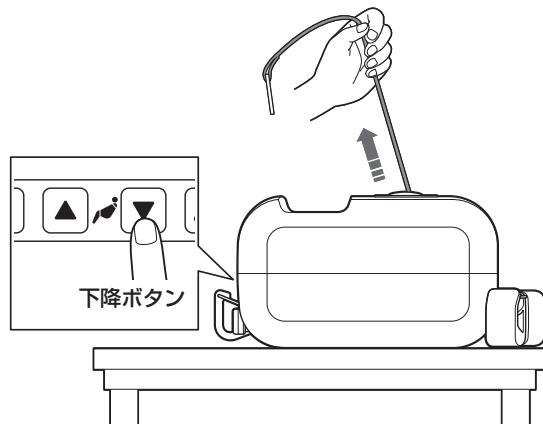
- 緊急時以外は使用しないでください。
- 本体が故障した場合にのみご使用ください。

通常時にご使用いただくと故障の原因になります。

■ ベルトテンションガード

台の上などに降ろした場合、リフティングベルトの思わぬ排出を防ぐために装備された機能です。

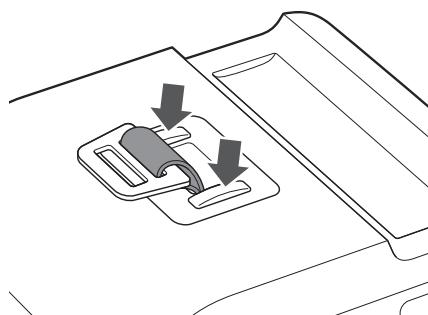
- ベルトを引き出す際には、リフティングベルトを引っ張りながら下降ボタンを押してください。



■ ベルトストッパー

リフティングベルトが安全ストッパーに接触すると、リフト本体の昇降が停止します。

- リフト本体を一番上に巻き取り、ベルトストッパーにあたった後、止まります。



■ セーフティキャッチ

リフト本体にはセーフティキャッチが備わっています。これは故意でない落下を防ぐためのものです。

リフティングベルトが急に引っ張られると、セーフティキャッチが作動し落下を防ぎます。

故障かな？と思ったら

■ 修理を依頼される前に、もう一度ご確認ください。

こんなとき	ご確認ください	対処方法
リフト本体が上昇・下降しない	・電源スイッチがOFFになっていませんか。	スイッチをONにしてください。
	・バッテリーの充電は十分ですか。	リフト本体を充電してください。
	・緊急停止ボタンが押されていませんか。	緊急停止ボタンを解除してください。
	・リフト本体が最高位または最下位になっていませんか。	これ以上の上昇・下降はできません。
		セーフティキャッチが作動している状態です。販売店もしくは弊社へご連絡ください。
	・表示ランプ=赤色の点灯	リフト本体のモーターが加熱しています。しばらく待ってからご使用ください。
		過荷重の状態です。緊急降下ボタンでハンガーを下降させてください。
上昇中または下降中に止まってしまう	・ご利用者の位置が片寄って、リフト本体が傾いていませんか。	安全ストッパーが作動しています。ハンガーを手で水平にし、ご利用者を降ろし、スリングシート（吊り具）でバランスを調節してから使用してください。
高速・低速機能が働かない	・モーターが劣化しています。	お買い上げの販売店または弊社までお問い合わせください。

荷重のかかった状態で電源をOFFになると、自然にリフト本体が下降する		低速降下機能が作動しています。
リフト本体を台の上等に降ろしたとき接地したと同時に作動しなくなった		ベルトテンションガードが作動しています。 ベルトを引っ張りながら下降ボタンを押してください。

表示ランプ

リフトの電源が入っている場合に、次のように表示します。

表示ランプの状態	リフト本体の状態
緑色の点滅	使用可能な待機状態です。バッテリーレベルは「フル」を示しています。
緑色の点灯	リフト本体が作動中の状態です。 使用後、待機状態【緑色の点滅】になります。
黄色の点滅	使用可能な待機状態です。バッテリーレベルは「ノーマル」を示しています。
赤色の点滅	リフト本体の充電が必要な状態です。
赤色の点灯	リフト本体になんらかのトラブルが起きた状態です。 P.20『故障かな?と思ったら』をご参照ください。
緑色／黄色の点滅	リフト本体のメンテナンス時期です。定期点検を行ってください
黄色／赤色の点滅	リフト本体のメンテナンス時期です。定期点検を行ってください。 また充電が必要な状態です。

保守・点検

■ 保守

お手入れ方法

リフト本体やハンドコントロール等の汚れは、乾いた柔らかい布で拭いてください。
汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に浸した布をよくしぼって拭き、乾いた布で仕上げてください。

⚠ 注意



●シンナー・ベンジン等は絶対に使用しないでください。また液剤を直接リフト本体にかけないでください。故障や変色・変形の原因となります。

毎日充電

バッテリーは毎日充電してください。

⚠ 注意



●必ず指定のバッテリー充電器をご使用ください。

■ 点検

機器および部品は、管理者の方が必ず定期点検を行ってください。

1. 日常点検事項（毎日）

点検内容	点検方法・基準
・リフティングベルト、ハンガー	左記を目視確認
・スリングシート（吊り具）	表示ランプが赤色点滅していないか確認
・バッテリーの充電状態	可動範囲を目視確認
・リフト本体可動範囲内での障害物の有無	左記を目視確認
・レール、レールローラー、ポール等	

2. 定期点検事項（月1回程度）

点検内容	点検方法・基準
・固定および移動レールの湾曲、変形の有無	左記を目視確認
・バッテリーの劣化	充電後、数回昇降動作を行い、問題がないかを確認
・リフティングベルト、スリングシート（吊り具）	毛羽立ち、ほつれ、破れ等を確認
・レール、レールローラー、ポール等	ぐらつき、ゆるみ、曲がり等を確認

⚠ 警 告



強制

- リフト本体やバッテリー、ベルト類、スリングシート（吊り具）等の劣化・交換時期は使用状況により異なります。
必ずご使用前にP.22の点検を行い、異常がある場合はすみやかにご使用を中止し、お買い上げの販売店または弊社までご連絡ください。
- バッテリーは1・2年を交換の目安として、新しいバッテリーに交換してください。
蓄電池の液漏れ・発熱・破裂や人身損傷の原因になることがあります。
- 電源は必ず切ってください。
電源を入れたままでするとバッテリーの早期劣化の原因となります。

⚠ 注意



強制

- リフティングベルトは3年を交換の目安として、ベルトのほつれや両側端部が毛羽立ってきたら新しいベルトと交換してください。（交換時期は使用状況により異なります）
ベルトが劣化していると思わぬ事故の原因になります。
- ホコリの多いところや直射日光の当たる場所には保管しないでください。
故障・誤作動の原因となります。
- リフト本体に物を載せて収納しないでください。
故障・誤作動の原因となります。
- 本製品の補修部品の供給年数は5年です。
製造打ち切り後5年以上経過した場合、補修部品の供給ができないことがありますのでご了承ください。

■ メンテナンス

お願い

- リフト本体やレール、スリング（吊り具）、レール付属の部品の保守・点検は、
弊社公認の技術者により最低年1回行ってください。

定期的な保守点検を行うメンテナンス契約をご希望の方は、お買い上げの販売店または弊社までお問い合わせください。

※保守・点検についてのご不明な点は、お買い上げの販売店または弊社までお問い合わせください。

保証・アフターサービス

■ 保証

保証書

- 本製品には保証書がついています。保証書は、販売店にて所定事項を記入し、お渡しいたしますので、内容をご確認のうえ、大切に保管してください。
- 本製品の保証期間はお買い上げから1年間です。
- バッテリー、ベルト類、スリングシート（吊り具）、吊り下げベルト等消耗品は保証の対象外です。

1. 保証

- 本製品は定める事項について、性能ならびに信頼性を保証します。詳細は添付の保証書をご覧ください。
- 独自に改造・修理された場合や保証書の提示がない場合は、保証をいたしかねますのでご注意ください。

2. 免責事項

- 下記の場合は、製品および製品に起因して生じた事故・損傷について弊社は責任を負いかねますのでご了承ください。
- 弊社または弊社指定の業者以外により設置・移設・保守・修理が行われた場合。
 - 弊社が納入した製品以外の他社製品が原因で、弊社製品が故障・損傷を受けた場合。
 - 弊社指定以外の補修用部品の使用による保守・修理が行われた場合。
 - この取扱説明書に記載されている注意事項や操作方法を守らなかった場合。
 - この取扱説明書に記載されている電源・設置環境等の使用条件より逸脱した条件で使用した場合。
 - 火災・地震・水害・落雷等の天災地変に起因する場合。

■ アフターサービス

修理

「故障かな?と思ったら」をご覧になり、もう一度お調べください。それでも異常があるときは、すみやかにご使用を中止し、お買い上げの販売店または弊社までご連絡ください。

【保証期間内】 修理の際に保証書をご提示ください。保証の規定に従って修理させて頂きます。

【保証期間が過ぎているとき】 修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理させて頂きます。

【修理料金のしくみ】 修理料金は、技術料・部品代・出張料等で構成されます。

修理をご依頼される際の確認事項

- 修理製品名
- 製造番号／本体上部に記入してある番号
- お買い上げ日／保証書に記入してある年月日
- 故障状況／「どのように使用していたら、どうなった」など詳しく
- お客様の住所／修理に伺うこともございますので、ご自宅付近の目印等もお聞かせください
- お客様のお名前
- *お客様の電話番号／市外局番よりお願いいたします

●修理は、弊社公認の技術者がリフト専用部品を用いて行います。

※修理のご連絡は、お買い上げの販売店または弊社までお願いいたします。

⚠ 警 告



- 異常が発生した場合は、すみやかに使用を中止してください。
煙・音・におい等、異常のある状態のまま使用しないでください。
- 改造・分解・お客様による修理はしないでください。
発火・感電・事故・けがの原因になる恐れがあります。また故障の際はお買い上げの販売店または弊社までご連絡ください。

■ お客様の個人情報の取り扱いについて

- 当社は、お客様よりお知らせいただいたお客様のお名前・ご住所・電話番号などの個人情報を、サービス活動および安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
- 当社は、機器の修理や点検業務を当社の協力会社に依託する場合、法令に基づく業務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供はいたしません。

■ 仕様

■ かるがる[®] プチ V 仕様

- 吊り上げ重量：150 kg (最大許容重量)
- 吊り上げ距離：208 cm
- バッテリー：密閉型鉛蓄電池 2 × 12 V 2.3 Ah
- 充電方式：専用バッテリー充電器使用 (過充電防止回路付)
家庭用電源 AC100-240 V (50/60 Hz 共用) - 1.6 Ah (max)
- 保護装置：リフティングベルト上下限とも自動停止装置 (内部スイッチ)、緊急降下機能、緊急停止機能
- 防水性能：リフト本体 IPX4
ハンドコントロール IPX5
充電器 IPX0
- 重量：本体8.7 kg
- 本体寸法：W 45 × D 31 × H 15 cm
- 架台／レール：架台／普通鋼+焼付塗装 (ステンレス製品も用意しております)
：レール／アルミ+焼付塗装

※ISO、ETL、CEの認証取得

●製品仕様は改良のため予告なく変更する場合がございますのでご了承ください。



〒246-0001 神奈川県横浜市瀬谷区卸本町9279-69
商品に関するお問い合わせ 無料
受付時間 / 平日9:00~17:00 通話 0120-798-777
URL <http://taketora-web.com/> E-mail info@taketora-web.com